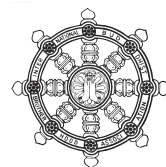


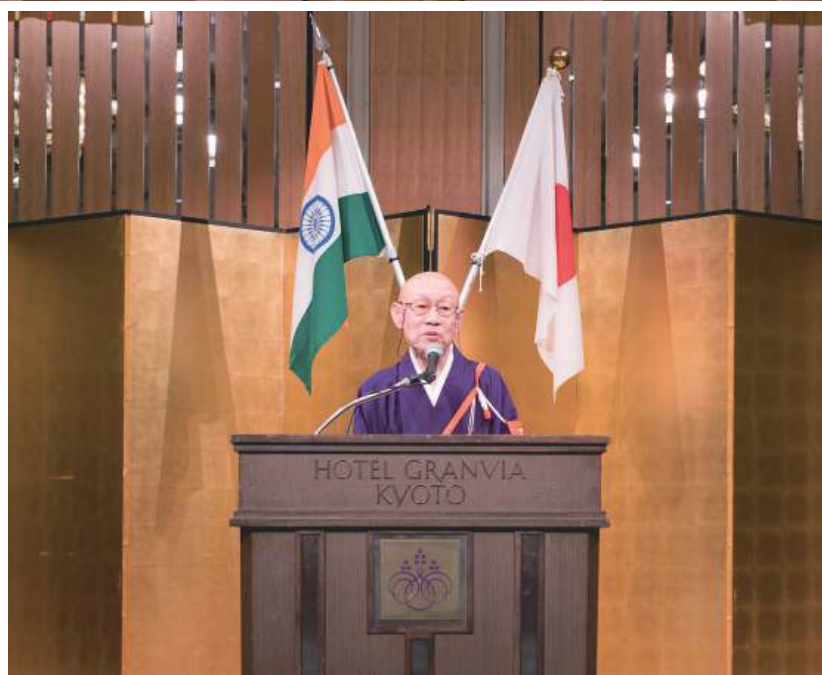
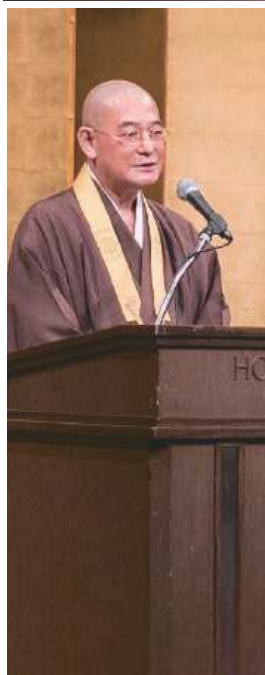


日本寺ニュースレター



Nipponji news letter

2024年9月号
(公財) 国際仏教興隆協会



印度山日本寺開山50周年・菩提樹学園45周年・光明施療院40周年記念式典

2024年6月18日、ホテルグランヴィア京都で記念式典を開催しました。全国各地から約220名の方々がご参集くださいました。

関係各位からの祝辞に加え、50年を振り返り日本寺建立の経緯や歩み、さらには2023年12月6.7日に現地ブッダガヤ日本寺で開催しました法要等の動画とスライドショーを交えてご報告申し上げました。

式典は佐藤事務総長の司会のもと進行され、開式にあたり、全員で三帰依文の唱和の後、世界各地の紛争や能登半島地震の被災者に心を寄せ、平和を願い1分間の黙祷。

中村康雅理事長による開会の挨拶では、「日本寺は宗派を超えた数多くの先達たちの大きな力によって建立された寺であり、50年の歳月を重ねることができたのは、皆さまのご支援あってこそのも。これからもお釈迦様がお悟りの地ブッダガヤからみんなで平和と安穏を願っていきたい。」

と御礼と引き続きの支援を呼びかけました。

北河原公敬日本寺竺主のご挨拶では、「昭和48年の日本寺本堂落慶時に南都六大寺を中心に法要団を組み法要を勤めたことが、初めての訪印であり、特に法要後の施食では地元の方々が我先にと大勢押し寄せた光景が今でも印象として残っている。」と当時の思い出を語られ、各協力団体への謝辞とともに「開山50周年に竺主として日本寺にたたせてもらえることが大変ありがたいことです。竺主として毎年インドには行っているが、若い僧侶の方々にはぜひ日本寺駐在僧としてお勤めいただきたい」と要請されました。更に、ブッダガヤに日本寺があること、日本寺は日本仏教界が一同となって建立した宗派を超えた寺院であることが周知されていないことに言及され、ブッダガヤへの聖地参拝の際には、ぜひ日本寺に参拝いただけるよう強く訴えられました。



高山久照理事長



東伏見具子会長



アニル・ダット・ラトゥリ領事

関係各位からの祝辞・スピーチ

(公社)日本仏教保育協会 高山久照理事長

「菩提樹学園は、1975年保育協会の会員からの100円玉募金を原資に園舎を建設し寄贈したことから始まります。子どもを産んだ卒園生が、この子を菩提樹学園に入園させたいと挨拶に来たエピソードを交えて、愛情をもって子どもを育てている菩提樹学園の精神が、生活環境が厳しい中でも生活の喜びと大きな支えになっている。」

(公社)全日本仏教婦人連盟 東伏見具子会長

「2018年に初めてインド訪問時の日本寺での法要や、子ども達のダンスや演劇の様子が今でも忘れられません。仏教婦人連盟は、光明施療院の建物を寄贈し、無料診療活動を支援してきましたが、現在は園児施設に移動し、応急措置や栄養指導等、地域の公衆衛生指導を活動している。先輩方が始められて40年、今後ともこの活動を継続するためにはもっと若い方々に参加していただきご支援を賜りたい。」

在大阪インド総領事館 アニル・ダット・ラトゥリ領事

「インドにおける日本寺50周年とインドと日本の繋がりを祝うために多くの方々が集まったことを大変うれしく思います。インドと古くから仏教を通して文化的な繋がりがあり、深い関係です。モディ首相も主張されていますが、対立を解決する為には仏教の教えが役に立ちます。」

今後ともインドと日本の人々の精神的なつながりを深めるために仏教に関するこのような行事を期待しています。」

(公財)全日本仏教会 尾井貴童事務総長

「日本寺の活動として弱い困った立場の人たちに行動を起こし、長い間活動をしてきていることに頭が下がり、敬意を表します。全世界に日本の仏教の文化が宣揚され、世界が平和になることを願います。」

花園大学 佐々木閑特別教授

「宗教問題で戦争が起こる理由は、自我が強すぎるため他者を認めないことにある。自分にも間違いがあるかもしれないと自らを省みることが戦争に繋がらない。我々が仏教の正しい教えを説いていくことが大変重要であると。」

京都府バス協会 鈴木一也会長

「北河原竺主の学習院の後輩であるご縁で、北河原竺主とインドに仏跡参拝を重ね、ご教化いただいています。インドのGDPが2025年には日本を抜くと言われており、インドはもはや先進国の一つであるが、ブッダガヤに行くと貧しい地域もあります。今年も日本寺参拝のツアーが企画されています。竺主とともにぜひ皆さんも現地を訪れていただきたいと思います。」



大工原彌太郎日本寺管理局長・総務局次長 功労者表彰贈呈

印度山日本寺創建当初より、現地との折衝や事業運営を担ってきた大工原彌太郎氏に中村理事長から功労者表彰状が贈呈されました。

受賞の挨拶では「ブッダガヤのあるガヤ地方一帯は、歴史的に四方からの外来民族に追い詰められたインド原住民の人たちが行きついた場所であるため、長い歴史の中で差別される立場に立たされてきた。そのブッダガヤもインドも、自分が日本寺に関わり始めた50年前と比べると目を見張るような経済発展が喧伝され、生活環境も良くなっている。

しかし、差別格差はますます拡がり、貧困に苦しんでいる人々がまだまだ大勢いる。いま世界は不安定な状況下にあって、日本も苦しい立場にあるが、どうか、そういう人々がいるということを忘れずに心を寄せ続けてほしい。彼らは『遠い日本から自分たちのことを本当に思ってくれる人たちがいる』

と思うだけで頑張れるのです。これからもブッダガヤを日本寺をよろしくお願いします」と話されました。

大工原氏は2024年6月30日をもって当協会を退職いたしました。

大工原氏のインドに関する知識や経験値に取って代わるものはおらず、時に応じて助言を求めることができる関係を保っていく所存です。



理事長再任の挨拶

(公財)国際仏教興隆協会理事長
知恩院副門跡・大樹寺貫主 中村康雅



平素より国際仏教興隆協会の活動にお力添えを賜り、誠に有難うございます。

仏恩感謝の一念のもと、世界平和の一願を掲げ、日本仏教界の総力を結集して仏祖成道の地インド・ブッダガヤに寺院を建立せんと当会は設立されました。昭和43年のこと

であります。5年後の昭和48年には印度山日本寺が落成し、開山50年となった昨年の成道会には日本から150名の皆様が参拝され、菩提樹学園45周年、光明施療院40周年、及び仏教学東洋学研究所図書館棟落慶を寿ぎました。

本年6月には、京都に於いて祝賀の会を催し、当協

会発足時からご尽力を賜りました大工原氏に感謝の誠を捧げ、多くの先達が積み重ねられた労苦の上に建つ日本寺に思いを馳せました。

また私自身、理事長職3期目として再任することとなりました。真に微力、浅学非才の身であり、皆様のお力をお借りしなければ何も出来ぬ我が身であります。事務局と力を合わせ、日本寺竺主北河原公敬東大寺長老をお支えして参る所存です。

「釈尊成道の聖地ブッダガヤに世界各国の寺院を建立し、共に世界平和を願ってゆきたい」と切望された故ネール首相の思いを噛み締め、「仏恩感謝」「和合共生」の志を忘れることなく、コロナウイルスにより止まってしまった時間を取り戻し、次の50年に向けての土台作りをして参りたく存じます。

皆様からのより一層のご教示ご教導を切にお願い申し上げます。引き続きご助力を賜りますよう懇願申し上げます。日頃の御礼、ご報告方々、再任の挨拶とさせていただきます。

合掌

パトナからブッダガヤへの所要時間が半分に

日本がODAで行っているビハール州・州都パトナ市とドビー市(ブッダガヤ近郊)を結ぶ高速道路(国道83号線)の整備事業がまもなく完了する予定です。道路の開通によってパトナ-ブッダガヤ間は所要時間が半分に短縮され、2時間以内で移動できることとなります。

パトナへはデリーからの国内線フライトの便数も多く、ブッダガヤへの観光がより便利になります。

また並行して、ガヤとビハールシャリフを結ぶ高速道路(国道82号線)の整備もODAで行っており、同道路の完成によりナーランダやラージギル等への観光も便利になることが併せて期待されます。

鈴木浩 駐インド大使日本寺ご参拝

2024年6月28日、鈴木浩駐インド日本国特命全権大使が日本寺をご訪問くださいました。

鈴木大使は2日間ブッダガヤにご滞在になられ、大菩提寺や各日本寺院へご参拝、日本人が運営する学校等を視察されました。

日本寺では、番地章夫師と現地マネジャーのロプサンのご案内のもと本堂をご参拝され、光明施療院・菩提樹学園・仏教学東洋学研究所図書館の各施設を御覧になられました。



鈴木大使は初のブッダガヤご訪問となられるとのことで、日本寺建立の経緯や菩提樹学園の授業内容等々の説明に大きく耳を傾けてくださいました。なかでも昨年12月に開架した仏教学東洋学研究所図書館の蔵書に関して、その専門性の高さや所蔵数に大変感心されておられました。



またブッダガヤの各施設のご訪問に加え意見交換会の場も設けてくださり、『ブッダガヤと日本の交流』について各人に意見を求められました。

翌日は大菩提寺をご参拝になられ、大菩提寺所属僧侶・大塔管理員会事務総長マハシュエタ・マハラッティ氏のご案内のもと、ご本尊前で読経し、お釈迦様に法衣をお供えになられました。さらに、通常は非公開の大菩提寺2階中央祠堂の麻耶夫人(お釈迦

様の生母)を特別に参拝されました。

マハラッティ氏は当協会の現地法人役員でもあり、日本へ留学の経験があることから、鈴木大使との懇談では日本の話題にも花が咲きご予約の滞在時間をオーバーされたとのことでした。マハラッティ氏は鈴木大使のそのお人柄に大変な感銘を受けられたと伺いました。



40度近くの酷暑の中、ブッダガヤをご訪問くださったことに心より感謝申し上げます。

印度山日本寺はお釈迦様の聖地ブッダガヤから仏教の根本の教え平和を発信し、また、日本とブッダガヤとの交流が深まるよう引続き努めて参る所存です。



北河原公敬竺主は2023年12月日本寺での記念法要後、デリーの日本大使館へ鈴木大使を表敬訪問されました。

「大もとはお釈迦様」の教え

(公財)国際仏教興隆協会

佐藤雅彦事務総長(浄土宗浄心寺住職)

今から40年以上も昔の話、私が20代半ばで、浄土宗の僧侶の仲間入りをした頃のことです。若手僧侶として希望にあふれ、出会う檀家の方々をはじめ、自分の学んだばかりの「浄土宗の教え」を葬儀やご法事の折、また日常に檀家の皆さんにふれ合うたびに伝えようと、真摯に取り組んでいる頃のことでした。「浄土宗のお念仏は法然上人がお説きになって」と話していると、決まったように一般の方々から声をかけられる言葉がありました。

「だけどね、みんな大もとはお釈迦様の教えなんでしょ!？」という言葉です。それ以降、私は自分の籍をおく浄土宗の教員として、20年以上、大正大学で教鞭をとってきました。そこではみな「いかに自分たちの宗派の、よき僧侶を育成するか」という点に教員の視線は注がれ、「お釈迦様の仏教」としてまとまることなどはあまりなく、もっぱら「自分の宗派の祖師方の教えをいかに伝えるか」という視点に、大半の力がそそがれているように感じるのです。

しかし現実の一般の人々の目の付け所というものは宗派に細分されている日本仏教の現実を、少し批判的に見て感じているのではないのでしょうか。

「お釈迦様の仏教」から始まっていることを、正面から説き示すこともあまりなく、日本の仏教界が相も変わらず、「私たちの宗派では」と声を大きくしても、好意的に受け止めてくれる人々はますます減

少の方向へ進み、残念ながら「宗派離れ」が進んで行ってしまうように感じられるのは、私だけでしょうか？

このニュースレターを手にした方々や、仏教者として生きようという人の中に、まだ釈尊の聖地・ブダガヤを訪れていない人がおられるのなら、どうかインドを訪れ、お釈迦様の悟りを開かれた聖地・ブダガヤをお参りください。そここそが私たち仏教徒の聖地であります。また縁のある方々の周辺に、まだブダガヤを訪れたことのない人がおられたら、「一度お参りに行きましょう」と、誘いの声をおかけください。その声こそが、仏教とさらに深く出会うご縁を結ぶものとなるのです。

昨年の12月、日本寺開山50周年を記念して行われた結集には、何人かの若き僧侶が参加してくれました。佐々木閑先生の行き届いた案内と、聖地に漂う空気に、みな「行ってよかった」「また行きたいと思った」と声を揃えて感想を述べられています。必ずや訪印はその後の仏教者としての生き方に影響を及ぼすものとなるでしょう。この秋、求道の心をもった若き僧侶が日本寺の駐在におもむこうとしています。どうぞ折を見て、日本寺にお参りいただければ、幸いと思い、一文を呈します。合掌



各国の仏教徒が参拝し賑わう大菩提寺

駐在僧赴任のご挨拶

戸田萌岳(真言宗智山派)

駐在期間：2024年10月～2026年3月(予定)



この度、印度山日本寺の駐在僧として赴任させて頂く事になりました、真言宗智山派の戸田萌岳と申します。まずは、日本寺派遣に際して、暖かいお力添えを賜りました皆様に篤く御礼申し上げます。

今回の駐在は私にとって初めての渡印となり、準備を進めている現在は期待と不安があります。しかし、仏教徒として釈尊成道の地に駐在できる事、また御縁のお導きがあったことに深く感謝し、仏教が生まれた土地の空気と文化を全身で受け止めて参ります。

ヒンドゥー教を始めとする、釈尊在世の時代からつづく様々な宗教宗派が現在も息づくインドに於いて、日本の仏教が人々にどのように受容されるのか。世界から釈尊成道の地に修行と安心を求めて訪れる人々にどのように教えをお伝えすることが出来るのか。日本語を母国語として育ち、海外経験の乏しい私が、ヒンドゥー語や英語を始めとする異国語で、人々と仏教を通じた交流が出来ることは、大変貴重な経験だと思います。そしてそれはより深く仏教を学び、また自分の信仰の原点に立ち返ることにもなると考えております。

最後になりますが、駐在僧としての御縁を頂いた皆様方のご期待に沿えるよう、微力ではありますが日本寺の護持興隆に尽力させて頂きたいと思ひます。

合掌

菩提樹学園ソバー先生へインタビュー

菩提樹学園の主任教諭ソバー・シンハ先生は、1984年から40年にわたりブッダガヤの子ども達の教育に力くださっています。

今回開園45周年を記念し、ソバー先生にインタビューしました。



◇園児達と接する時の実践的な基本方針は何ですか

小さな子供たちが家庭を出て「学校」と呼ばれる世界に足を踏み入れると、その世界が少し奇妙に感じられるものです。すべてが彼らにとって新しく、中には好きなものもあれば、そうでないものもあります。

私たちはこうした子供たちと親しく接し、彼らに敵ではなく仲間であると感じさせます。まるで彼らの母親であるかのように接することで、子供たちがこの学校環境の中で家庭のように感じられるよう手助けをすることをモットーとしています。

◇菩提樹学園開園当初と比べて、子ども達の家庭環境や親の教育に対する考え方は変化しましたか

開園当初の45年前は、子ども達の家庭環境は哀れなものでした。土の家、食事でも満足に食べることができず、まともな服もなく、子ども達は学校に行かずあちこちで遊び、そして両親は子どもに無関心でした。しかし、現在は以前に比べて生活環境は改善はされていますが、貧困層であることには変わりはありません。

教育に対する認識がなく、教育の意味を理解していませんでした。子供を学園に通わせることもあれば、しばしば通わせないこともありました。このような状況では、子供たちを家庭から学校に連れてくる必要がありました。その対策として私たちは、新園児の入園後すぐに家庭訪問を実施しています。



園児らが住む村の住居

各家庭で教育の側面や重要性を説明することで、彼らは教育の重要性を理解し始めます。親は子供たちを菩提樹学園に送り、規則に従うようになりました。

今では無理やり園に連れて行く必要はなくなりました。親たちも自分の子供たちを菩提樹学園に入れたがっており、入園申込日には多くの希望者が集まりますが、受け入れ人数が限られているため、多くの人を断らなければならない状況です。

◇園児の親の教育程度について

開園当初、子ども達の親はまったく読み書きができませんでしたが、時代とともに教育に対する意識も変わり、現在ではおおよそ、

- ・大学教育 10%
- ・高等教育 20%
- ・中等教育(8年生) 20%

の割合で教育を受けています。しかし、今でも50%の親が教育を受けておらず、自分の名前しか書けない親もいます。

◇菩提樹学園の教育の特徴について

菩提樹学園では、次のような活動を通じて子供たちの精神的および健康的な発展を目指しています。

- ・精神と身体の発展を促進する運動を取り入れている
- ・貧しい村の子供たちを環境の整った菩提樹学園に引き入れます。
- ・子供たちが家庭のように感じられる環境を作ります。
- ・段階的に学習環境に適応させます。
- ・教育に対する関心と意欲を持たせます。
- ・正しい文字の書き方、文章の書き方を教えます。
- ・お遊戯会などの舞台で緊張や恐怖を克服し、個々の潜在能力を引き出します。



お花まつりにお誕生仏



年度末の試験



粘土で自由に工作

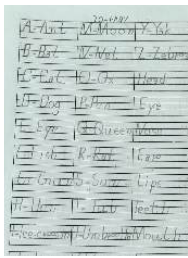
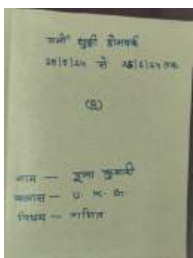
- ・折り紙・絵画・工作などでアートの興味を育てます。
- ・本の朗読を通じて子供の人格を形成します。
- ・園児全員の精神能力は同じではないため、皆が同等の学習能力を習得できるよう特別授業を設けています。
- ・毎月筆記試験を実施し、習熟度を確認します。

これらの取り組みを通じて、子どもたちが精神的にも学業的にも成長できる環境を提供します。さまざまな特徴をもった菩提樹学園の子どもたちは、優れた成果を上げているため、村のすべての親が自分の子どもを菩提樹学園に入学させたいと願っています。

◇子ども達を教育する上で最も大変なことは何ですか

村の子供を教育することは簡単ではありません。あらゆる面で困難があり、子どもたちは完全に先生に依存しています。親の協力はほとんどありません。通園日である月曜日から土曜日まで園児たちは規則正しく勉強しますが、日曜日は休日のため、授業で習ったことを忘れてしまいます。

先生たちは子どもたちに授業ことで習ったことを忘れさせないために、より多くの努力を払わなければならないことが大変です。



夏休み期間中には、英語・ヒンディー語の練習などの宿題が出されます

◇インドでは小学校入学のためには受験しなければいけませんが、入試の内容はどのようなものですか

小学校の入試では、ヒンディー語・英語・算数 それぞれ口頭試験、筆記試験が実施されます。

菩提樹学園は、すべての生徒を誠実に教え、ヒンディー語での授業の学校であれ、英語での授業の学校であれ、小学校入学を果たせることを目標としています。菩提樹学園の教育の質の高さはブッダガヤ全体で認められており、いずれの小学校でも菩提樹学園を卒園した子供たちは高く評価されています。

◇卒園生の進路について

菩提樹学園を卒園後の子どもたちの進路は家庭の経済状況にもよります。約20%の生徒が、大学まで進学し、学位を取得しています。しかし、約半数の生徒が学業に対する関心が低く、また親も教育に関心を持たないため、1年生から5年生の間で学業を中退しています。菩提樹学園の園児は毎年全員が小学校に入学していますが、ブッダガヤには経済的な理由により進学できない子ども達も大勢います。

◇近年ブッダガヤに新しく開設されている教育施設について

今日、ブッダガヤには多くの教育施設があり、地元の支援や海外の支援によって新たに開設され続けています。授業料が有料の施設もありますが、無料の施設もあります。無料の施設では、菩提樹学園同様に、軽食、制服、教科書やノートなどが完全に無料で提供されます。

しかし、教育の観点から見ると、どの施設も水準以下で、謳っていることと実際に提供されるものが異なる施設が多くみられます。

それらの施設と比べ、菩提樹学園は他とは異なります。規模は小さいですが、教育の水準は他の学校よりも優れています。

◇ソバー先生が菩提樹学園を卒園した子ども達の学習サポートのために開いている私塾について教えてください。

菩提樹学園を卒園した子どもが進学しても、途中で中退してしまうことがよくあります。この状況に対して非常に心を痛めています。なぜなら、私たち菩提樹学園の先生は、子ども達の学業向上のために多大な力を注いでいるからです。



ソバー先生の私塾に通う菩提樹学園を卒園した子ども達



学校での教育方法を知っている教師として、子ども達が途中で学校を辞める理由を理解しています。多くの場合、授業についていくことができず、その結果として学校を辞めてしまいます。

このような状況を改善するために、私は菩提樹学園での授業が終わった後、午後2時から5時まで自宅で子ども達の指導に力を注いでいます。

今年度は1年生から10年生（6歳～15歳）の生徒45名が在籍しています。1年生から8年生の生徒は私自身が指導し、9年生と10年生の生徒は塾に送り出しています。塾の授業料は私自身が負担しています。これは、日本での高校にあたる上級中学校に入学するために受験が必要となる「ビハール州の共通試験」に備え、より良い成績を取るために必要だからです。これまでに多くの生徒が試験に合格し、自分の意志でさらに教育を続けています。

また、とてもうれしいことに地元の大学に入学を果たした教え子の2人が私を手伝ってくれて、子どもの学習指導にあたっています。



大学に通いながら子ども達の指導をするディピカ・クマールさん



菩提樹学園の授業風景

◇菩提樹学園を支援してくださっている方々へメッセージをお願いします。

菩提樹学園には、近隣の村々から貧しく困窮している子供たちが通っています。何世代にもわたり、家族は菩提樹学園で学んできました。子供たちは、菩提樹学園の環境の良さを知っているため、ここで学びたいと願っています。生徒の80%は貧困層出身で、生活環境はよくありません。彼らの話し方は粗野で暴力的になりやすく、しばしば喧嘩に巻き込まれます。そのような生徒を教えることは非常に難しい課題ですが、菩提樹学園のすべての先生は優秀で、感受性、忍耐、愛情をもって接し、菩提樹学園の価値観を教えています。

ご支援くださる皆さまのお蔭さまで、菩提樹学園の教育がブッダガヤの地域社会に変革をもたらしています。今後も菩提樹学園を通じて地域社会への教育の普及をさらに拡大してまいります。何卒引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げます。



菩提樹学の先生方



毎月お誕生日会を開き、皆でお祝いをします

インドの教育制度改革、3歳からの早期教育

インドの学習指導要領にあたる、『National Education Policy2020』が承認され、従来の6歳から始まる「5・3・2・2年制」から、3歳から始まる「5(3・2)・3・3・4年制」に改定されました(州によって多少の違いはあります)。

脳の発達の85%以上が6歳以前に発生していることから、幼児期に脳を適切にケアし、刺激することの重要性が示され、早期教育に重点が置かれた政策となりました。遅くとも2030年までにはこの早期教育が提供されなければならないとうたわれています。

この改定により、今後、菩提樹学園での教育の需要がさらに高まることが見込まれます。

ご志納者ご芳名 皆様からのご支援に心より感謝申し上げます。敬称略 (2023. 12/1～2024. 3/31まで)

……………100万円以上……………	
菩提樹学園	
東京都港区	(公社)日本仏教保育協会
一般寄付	
東京都渋谷区	(公社)全日本仏教婦人連盟
立川市	真如苑
文京区	光圓寺

護持会費

……………10万円以上……………	
埼玉県	
鴻巣市	勝願寺
東京都	
文京区	傳通院
三鷹市	耀 英一
八王子市	金剛院
神奈川県	
横浜市	圓滿寺
山梨県	
身延町	身延山久遠寺
長野県	
駒ヶ根市	安楽寺
京都府	
京都市	妙法院
大阪府	
大阪市	桶屋良祐
大阪市	一宮良範
大阪市	丸山良徳
奈良県	
奈良市	大本山東大寺
……………	

北海道	
釧路市	大成寺
岩手県	
盛岡市	永泉寺
平泉町	菅原光中
宮城県	
仙台市	桃源院
福島県	
白河市	渡邊宗徹
須賀川市	長祿寺
会津若松市	融通寺
いわき市	小野道雄
栃木県	
佐野市	小林慧舜
栃木市	近龍寺
上三川町	鯨 照子
群馬県	
前橋市	志田洋遠
埼玉県	
さいたま市	上村正剛
草加市	小野塚純二
春日部市	圓福寺
東松山市	曹源寺
所沢市	金乗院
熊谷市	鈴木英全

千葉県	
千葉市	光明寺
佐倉市	加藤泰惇
東京都	
千代田区	河村建夫
千代田区	神田寺
千代田区	松元 崇
千代田区	大平 裕
台東区	法清寺
台東区	白川良行
文京区	大西正也
文京区	浄心寺
北区	興楽寺
葛飾区	金蓮院
葛飾区	滝沢幹雄
墨田区	正福寺
江戸川区	泉福寺
品川区	平岩共代
大田区	妙安寺
大田区	深井敏江
世田谷区	大倉源次郎
世田谷区	大西幸男
世田谷区	眞福寺
世田谷区	駒澤大学高等学校
新宿区	西光庵
新宿区	真清浄寺
中野区	宝仙寺
中野区	唐澤靖治
杉並区	光明院
豊島区	金乗院
豊島区	小山敬次郎
板橋区	平井和成
練馬区	寿福寺
小平市	泉蔵院
西東京市	總持寺
東村山市	朝木宗佑
八王子市	山田チエ子
町田市	大橋正明
昭島市	竹口甲三
あきる野市	執行晃弘
東大和市	三光院
神奈川県	
川崎市	教安寺
川崎市	斉藤正彦
横浜市	孝道山本仏殿
横浜市	歓成院
横浜市	向井眞一
横浜市	安養寺
横浜市	西有寺
横浜市	早島大英
横浜市	太田雍子
横浜市	中田寺
横須賀市	浄土寺
伊勢原市	大宝寺
大磯町	川瀬 忍
山梨県	
身延町	蓮華寺佛子の会
長野県	
上田市	大輪寺
松本市	小笠原隆元

松本市	正麟寺
塩尻市	西福寺
塩尻市	興龍寺護持会
原村	滝田 栄
静岡県	
熱海市	海福寺
伊東市	野村道子
富士市	八木やち代
焼津市	教念寺
函南町	今仁節子
愛知県	
名古屋市	鬼頭春光
名古屋市	藤田 澈
名古屋市	神野哲州
一宮市	肥後收彦
滋賀県	
大津市	園城寺
大津市	渡部光臣
大津市	雲住寺
草津市	佐々木昭道
東近江市	内田卓也
京都府	
京都市	細見昌代
京都市	番地章夫
京都市	総本山鞍馬寺
京都市	賀茂御祖神社
京都市	寂光院
京都市	大本山清浄華院
京都市	(一財)京都仏教会
京都市	上品蓮台寺
京都市	(株)安藤
京都市	泉涌寺
京都市	湯浅英明
京都市	南禅寺
京都市	則竹秀南
長岡京市	乗願寺
南丹市	教伝寺
大阪府	
大阪市	真言宗国分寺派
大阪市	法善寺
大阪市	稲垣佳子
大阪市	大圓寺
大阪市	濱田友子
大阪市	堀内ゆり子
八尾市	平川商事(株)
八尾市	衣笠智恵子
和泉市	山本淳一
兵庫県	
神戸市	滝澤功治
神戸市	磯村幹夫
西宮市	井上 驍
宝塚市	田中 智
奈良県	
奈良市	唐招提寺
奈良市	生駒基達
奈良市	森田由躬江
奈良市	矢野朋子
奈良市	中寫 大
奈良市	飯田二昭
奈良市	大安寺

奈良市	近畿日本ツーリスト(株)奈良支店
奈良市	元興寺
奈良市	野原祐子
天理市	吉田明美
桜井市	堀井擴子
五條市	北山硯子
大和郡山市	藤川保雄
鳥取県	
三朝町	米田陽子
島根県	
益田市	松本祐二
岡山県	
倉敷市	圓乗院
久米南町	浄土院
広島県	
三原市	大善寺
広島市	天部テルミ
山口県	
萩市	池上良慶
徳島県	
徳島市	(一社)徳島県仏教会
福岡県	
福岡市	(株)はせがわ
豊前市	明徳寺
宮崎県	
都城市	攝護寺

一般寄付

……………10万円以上……………	
宮城県	
塩竈市	東園寺
塩竈市	千坂成也
松島町	瑞巖寺
東京都	
江東区	安孫子虔悦
台東区	本山東本願寺
台東区	榎寺
福井県	
永平寺町	南澤道人
静岡県	
静岡市	中村康雅
静岡市	中村雅美
愛知県	
名古屋市	(株)旅企画
京都府	
京都市	臨濟宗妙心寺派花園会本部
奈良県	
奈良市	大本山東大寺
奈良市	北河原公敬
奈良市	北河原公慈
橿原市	三和澱粉工業(株)
吉野町	総本山金峯山寺
沖縄県	
八重瀬町	神谷邦子
……………	
栃木県	
佐野市	小林慧舜

埼玉県	
川越市	笠松猷一
飯能市	山口美和
千葉県	
船橋市	菅野秀浩
佐倉市	加藤泰淳
東京都	
千代田区	井桁良雄
千代田区	ダイセーグループ 田中 孝一
港区	(公財)全日本仏教会
港区	西應寺
港区	鈴木宏治
港区	妹尾正治
台東区	千手院
墨田区	大森寿美
江戸川区	明福寺
渋谷区	(公社)全日本仏教婦人連盟
……………	
新宿区	玄國寺
豊島区	遠藤陽三
調布市	深大寺
国立市	増田英子
日野市	鈴木将晃
神奈川県	
川崎市	熊坂 正
横浜市	安藤久仁夫
鎌倉市	円覚寺
藤沢市	龍嶋道男
長野県	
松本市	荻須眞教
塩尻市	洞派信隆
岐阜県	
揖斐川町	多田証子
垂井町	桐山千里
静岡県	
富士市	八木やち代
静岡市	望月英代
静岡市	中村康雅
浜松市	法光院
滋賀県	
大津市	渡部光臣
大津市	横山照泰
草津市	寺澤岳司
京都府	
京都市	伊藤唯眞
京都市	佐々木 閑
京都市	白藤雅一
京都市	小菅一了
精華町	平松和子
大阪府	
大阪市	鈴木一也
大阪市	白井真由美
大阪市	清原實夏
大阪市	大念寺
堺市	川上初枝
和泉市	山本淳一
兵庫県	
神戸市	福島康子
西宮市	水島俊浩

奈良県		千葉県		奈良県		磐田市	
奈良市	吉川起代子	習志野市	三原章夫	奈良市	吉川起代子	愛知県	大鐘敦子
奈良市	長谷圭子	東京都		奈良市	中川恵子	知多市	大崎 保
奈良市	淨教寺	千代田区	井桁良雄	奈良市	荒井敦子	一宮市	肥後收彦
奈良市	中谷圭佑	港区	大西正彦	平群町	小野博子	滋賀県	
大和郡山市	五條メディカル(株)	港区	妹尾理恵	山口県		大津市	渡部光臣
三郷町	植野忠治	台東区	末廣久美	山口市	井上 稔	豊郷町	安食真城
吉野町	総本山金峯山寺	江東区	子安一宏	光明施療院		京都府	
鳥取県		品川区	平岩共代	……………10万円以上……………		京都市	細見昌代
三朝町	三佛寺	渋谷区	(公社)全日本 仏教婦人連盟	東京都		京都市	番地章夫
広島県		世田谷区	千葉真知子	渋谷区	(公社)全日本 仏教婦人連盟	京都市	江頭真理子
広島市	加用稔子	新宿区	佐々木美恵子	愛知県		木津川市	ボーレン敬芳
高知県		府中市	山本晴康	名古屋市	(一財)森記念製造 技術研究財団	大阪府	
	高知県仏教青年会	立川市	常楽院	奈良県		大阪市	板東義雄
福岡県		神奈川県		吉野町	総本山金峯山寺	大阪市	辻村恵子
豊前市	嵐口心證	横浜市	安養寺	……………		東大阪市	善村文瑞
長崎県		綾瀬市	船崎 裕	岩手県		兵庫県	
諫早市	宮埼清彰	新潟県		盛岡市	櫻井キヨ	西宮市	後藤美恵子
大分県		柏崎市	飯塚真弓	平泉町	菅原光中	奈良県	
豊後高田市	多福院	長野県		栃木県		平群町	小野博子
		松本市	小笠原隆元	佐野市	小林慧舜	鳥取県	
		愛知県		栃木市	近龍寺	三朝町	米田陽子
		一宮市	肥後收彦	千葉県		山口県	
		三重県		市川市	OKUBO HITOSHI	山口市	井上 稔
		紀北町	橋本武彦	東京都		台湾	
		滋賀県		港区	大西正彦	台中市	戴 育澤
		大津市	渡部光臣	台東区	末廣久美	古本募金	
		京都府		江東区	子安一宏	埼玉県	
		京都市	細見昌代	品川区	平岩共代	鶴ヶ島市	西宗弘子
		京都市	佐々木 閑	新宿区	佐々木美恵子	入間市	嵯峨野(株)
		京都市	高村和法	府中市	山本晴康	東京都	
		京都市	小菅一了	立川市	常楽院	港区	小松 峻
		京都市	田坂広平	昭島市	竹口甲三	文京区	永瀬富士子
		城陽市	乗願寺	神奈川県		墨田区	大森寿美
		長岡京市	ボーレン敬芳	横須賀市	川口卓男	京都府	
		木津川市	松井千晶	小田原市	天利俊元	城陽市	松井千晶
		大阪府		長野県		京都市	森田恵三
		大阪市	橋野久子	静岡県		大阪府	
		吹田市	江崎道子	松本市	小笠原隆元	東大阪市	太田豊子
		羽曳野市	祝原圭子	静岡県		奈良県	
		兵庫県		焼津市	教念寺	生駒市	山路良隆
		西宮市	後藤美恵子			奈良市	吉川起代子

ご芳名の掲示・感謝状の拝呈について

ご寄付を賜りました方々のへの感謝の意を表しまして、1万円以上のご寄附下さった方のご芳名を各施設に掲示させていただきます。また、10万円以上のご寄附くださった方に「感謝状」を拝呈させていただきます。



50周年記念法要・佐々木先生講演会・菩提樹学園動画掲載中

当協会YouTubeチャンネルからご覧いただけます。
<https://www.youtube.com/@indosan-nipponji>

国際仏教興隆協会YouTube

検索



役員会開催報告

第36回理事会：2024年3月4日 於：当協会事務局会議室/Zoomミーティングルーム

(決議事項)2024年度事業計画案承認/2024年度収支予算案・資金調達及び設備投資の見込みについて承認/
任期満了に伴う名誉会長 河村建夫氏、名誉副会長 安田映胤氏再任

第37回理事会：2024年5月29日 於：当協会事務局会議室/Zoomミーティングルーム

(決議事項)2023年度事業報告ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書、財産目録に承認/定時評議員会招集

評議員選定委員会：2024年6月24日 於：当協会事務局会議室/Zoomミーティングルーム

(決議事項)任期満了に伴う評議員の選任

第17回評議員会：2024年6月24日 於：当協会事務局会議室/Zoomミーティングルーム

(決議事項)2023年度貸借対照表、正味財産増減計算書およびこれらの附属明細 財産目録について承認/任期満了に伴う理事監事改選

第38回理事会：2024年6月24日 於：当協会事務局会議室/Zoomミーティングルーム

(決議事項)理事長の選任

理 事 長		
中村康雅	浄土宗 知恩院副門跡・大樹寺貫主	再任

理 事 (任期：2024年6月24日～2026年6月)		
安孫子虔悦	浄土宗 正覺院住職	再任
新井順證	全日本仏教青年会理事長	新任
加藤朝胤	法相宗 薬師寺管主	再任
佐藤雅彦	浄土宗 浄心寺住職	再任
高輪真澄	(公社)日本仏教保育協会副理事長	再任
高山久照	(公社)日本仏教保育協会理事長	再任
千坂成也	臨済宗妙心寺派 瑞巖寺執事長	再任
中村康雅	浄土宗 知恩院副門跡・大樹寺貫主	再任
花岡真理子	(公社)全日本仏教婦人連盟理事長	再任
丸山良徳	念法真教金剛寺執事長	再任

監 事 (任期：2024年6月24日～2026年6月)		
鎌田勇夫	弁護士	再任
木村匡成	会計士	再任
三吉廣明	法華宗本門流 妙壽寺住職	新任

評 議 員 (任期：2024年6月24日～2028年6月)		
岸田一雄	真如苑教務長補佐	再任
小山敬次郎	元・経済団体連合会専務理事	再任
丹羽義昭	(公社)日本仏教保育協会執行理事	再任
日比野郁皓	浄土宗 樞寺住職	再任
米田陽子	(公社)全日本仏教婦人連盟理事	再任
和田学英	(公財)全日本仏教会事務総長	新任

「2023年度事業報告・財務諸表」につきましては、当協会HPに掲載しております。ご高覧いただけますようお願い申し上げます。
尚、郵送をご希望の方は事務局までお申しつけください。

お写経をお悟りの聖地「ブッダガヤ」に納経しませんか

お納めされたお写経は、お釈迦様が悟りを得られたことで仏教最高の聖地とされる、インド・ブッダガヤの大菩提寺境内の聖菩提樹前で各人の願が成就されるよう読経後、日本寺で法要を奉修し、永きにわたり奉安いたします。



お好きな時間、ご自身のペースで写経をしていただけるご自宅写経セットをお送りいたします。また、写経をされる際にご覧いただける、法要と法話の動画も公開しています。



ご納経料 2,000 円は日本寺の護持運営に役立てられます



世界遺産大菩提寺



ご支援のお願い



当協会ではインド・ブッダガヤでの更なる福祉活動の推進を図るため、印度山日本寺運営をご支援いただく護持会員、並びに菩提樹学園と光明施療院の運営をご支援いただくサポートプログラムを設けております。「お釈迦様の聖跡を護る」活動や「ブッダガヤの子どもたちの明るい未来」のために、どうか皆さまの温かいご支援をいただきたくお願い申し上げます。

◆ 護持会員のご案内 ◆

年会費 個人会員:5,000円 法人会員:10,000円 維持会員:100,000円(いずれも1口以上)

◆ ヒューマンサポートプログラムのご案内 ◆

・菩提樹学園年間ペアレントメンバー :10,000円 ・光明施療院サポート:10,000円

・園児1人の文具代3,000円

・1クラス(35名)分の給食代1,000円

プログラムの他、任意の金額でご寄附をお願いしております。

Webサイトからクレジットカードでのご寄付も可能です。



▽郵便振替▽ 00110-4-5493 加入者名 公益財団法人国際仏教興隆協会

▽銀行振込▽ 三菱UFJ銀行 中目黒支店 普通預金 0127885 公益財団法人国際仏教興隆協会

**(公財) 国際仏教興隆協会へのご寄付・会費は、
税制上の優遇措置の対象となります。**

【個人様の場合】

「税額控除」又は「所得控除」の対象となります。

【法人様の場合】

損金算入が認められます。

遺言による
ご寄付

香典・御花料
からのご寄付

相続による
ご寄付



これらのご寄付には相続税がかかりません

詳しくはwebサイトをご確認ください

写経会のご案内

毎月1回祐天寺にて写経会を開催しております。本堂での法要、法話の後、般若心経を写経いただきます。ご参加は、事前ご予約をお願いいたします。

一文字ずつお経を書き写すことは、心の安らぎにつながります。

写経は、お釈迦様お悟りの地、ブッダガヤ大菩提寺での納経奉告後、日本寺に奉納申し上げます。

【写経会】2024年10月18日, 11月8日, 12月13日, 2025年1月10日
月1回金曜日開催 18:00~20:00

【場所】祐天寺【納経料】2,000円

【お申込み】事務局まで、メール・お電話にてお申込みください。



(公財)国際仏教興隆協会

Webサイト <https://www.ibba.jp/> 随時更新中!

印度山日本寺

検索



@indo_nipponji



ibbajp

フェイスブック・ツイッターも更新中



事務局より

日本寺ではご参拝時に本堂でご法要をお勤めいただけます。その際は、事前に下記事務所までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

編集発行

公益財団法人国際仏教興隆協会

〒153-0061

東京都目黒区中目黒5-24-53

TEL03-3711-7608 FAX03-3711-7673

e-mail: jimukyoku@ibba.jp

<https://www.ibba.jp/>